

時間割コード	G1D11221		開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ (A)(初級)					担当教員	長谷部 めぐみ	
英文授業名	Academic English Phase (A)							
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限		対象学生	T (14)
講義室	共通教育33講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	大学D P							
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・Academic Reading: 習得したアカデミックレベルの語彙・文法・構文を基に、学術的な英文を読解する。 ・Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につける演習を行いながら、1ないし複数のパラグラフから成る説得力のある英文を作成する。							
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression							
(6)授業計画	ガイダンス, Unit 9 (Spain), パラグラフとは 確認テスト, Unit 9 (Spain), Chapter 8 (Opinions), 列挙 確認テスト, Unit 10 (Japan), Chapter 8 (Opinions), 例示 確認テスト, Unit 10 (Japan), Chapter 8 (Opinions), 原因・結果 確認テスト, Unit 11 (Spain), Chapter 9 (Asking for Advice), 比較 確認テスト, Unit 11 (Spain), Chapter 9 (Asking for Advice), 対照 確認テスト, Unit 12 (Germany), Chapter 9 (Asking for Advice), 分類 確認テスト, Unit 12 (Germany), Chapter 10 (Narrating Past Events), 分析 確認テスト, Unit 13 (Mexico), Chapter 10 (Narrating Past Events), 定義 確認テスト, Unit 13 (Mexico), Chapter 10 (Narrating Past Events), 過程 確認テスト, Unit 14 (Malaysia), Chapter 12 (Cover Letters), 問題解決策 確認テスト, Unit 14 (Malaysia), Chapter 12 (Cover Letters), 理由 確認テスト, Unit 15 (Romania), Chapter 12 (Cover Letters), 時間的順序 確認テスト, Unit 15 (Romania), Chapter 13 (Abstracts), 空間的配列 確認テスト, Presentation, Chapter 13 (Abstracts), 授業アンケート 期末試験							
(7)成績評価の方法	・授業課題（20%） ・事前・事後課題（20%） ・確認テスト（20%） ・期末試験（40%） ----- ・授業課題：授業内に実施する課題 ・事前課題：教科書の問題やDictationの課題 ・事後課題：授業内容の確認課題、語彙を増やすための課題 ・確認テスト：各授業の習熟度を測るテスト ・期末試験：授業内容と同レベルの実力問題 -----							
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。							
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・事前事後課題は、eALPSを用いて行います。eALPSの指示に従って提出してください。各課題の内容は以下の通りです。 ・事前課題は、【翌週の授業に向けての予習】です。 ・事後課題は、【授業内容を確認する課題】と、Writingに向けて【語彙を増やす課題】です。							
(10)履修上の注意	・この授業の達成目標に到達するためには、授業への積極的な参加と課題への意欲的な取り組みが必要です。 ・授業課題はeALPSで提出してもらいます。教科書とノートパソコン（またはタブレット）を持参して、授業に参加してください。 ・授業の出席確認は、QRコードの読み取り（スマートフォン等持参）と授業課題の提出の両方で行いま							

(10)履修上の注意	す。 ・授業開始20分後以降は、欠席扱いとします。 ・再履修を希望する学生は、初回の授業までに連絡をしてください。連絡をしない場合、受講許可できない場合があります。
(11)質問,相談への対応	メールにて質問や相談に対応する。 メールアドレス：hmequ3@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	前期に引き続き、下記の2冊を使用します。 ・八木橋宏勇（他3名），English Template Writing, 978-4-7647-4202-4, 金星堂, 2,530円 ・Arnold Arao（他3名），Enlightening Cultures, 978-4-523-17983-2, 南雲堂, 2,420円
【参考書】	適宜、紹介します。